知っと〜 こんな貴重な文房具

其の参

前回(くらら)、前2回とやたら郵便の話が続くのだが、今回も凝りずに、まずその話から……。

私は専用カッターでシュパー！と封を切り、且つ切りクズを残さない手紙の開け方が好きだ。こんなことって、とっても個人的な仕種にすぎないのだが、このカッター「レターオープナー」は、私の必需品である。

ビジネスシーンにおいては、大ハサミでジョギジョギやった方が効率的だろうから、これは個人的開封儀式の道具といったところかナ。

封筒の上一枚の紙が切れるだけなので、当然、切りクズは出ないのである。開封ごときに、こんな道具を……?!

と思いきや、使い慣れてくるほどにその必需度が高まるという経験済みの不思議な小物である。但し、どーしても慣れない人もいるようだ……んっ?!

こからやっと筆記具の話が登場。

先々週の日曜日の夜、或るトーク番組をみていたら、ゲストの山咲千里さんが、黒いページに白い鉛筆(?)で描いた手帳を公開していた。

黒ノートに白筆記とは、さすがにオシャレである。

このシーン

では、白鉛筆とみたが、昨年秋に発売された乳白系パステル色ボールペン「ミルキー」の登場は、黒系の紙に対する筆記の可能性を大いに伸ばしてくれた。

「ミルキー」は、ぺんてる社の中性ボールペン(水性ボールペンの内、プリン状インク使用のものをとくに「中性」と呼ぶ)「ハイブリッド」のシリーズ。

被覆力が強いので、濃色の紙に対してはバッチリ白ヌキ文字が描ける。乳白系パステル調で、現在、オレンジ・イエロー・ライトグリーン・ピンク・ブルー・バイオレット・ホワイトの7色が出ている。また、このミルキーに呼応して、濃色系のリフィルやカード類もお目見えした。

1997. 3. 8.

▲ミルキー 各色100円

ところで、現在「あったらいいな文具」のアイデアを募集中。絵切り迫ってますが、大賞20万円を見逃すではない。ふるってご応募ください。

(紙と文・富山祥孝 S 1997)

おかげさまで創業80年
株式会社ノア・カワバタ

文房具ライブラリー
SOHO
SOHOデイトス店・SOHO姪浜店

「あったらいいな文具コンテスト」

日頃の暮らしの中で、「あったらいいな」と思う文具のアイデアを自由に応募してください。

入賞賞金 200,000円

[応募資格]
年齢、性別、国籍、プロ・アマを問いません。

[応募規定]
●B4サイズ(25.7cm×36.4cm)の用紙(ケント紙や画用紙など)に描いてください。絵でも文章でも描き方は自由です。また、作品の写真でも構いません。
●画材はペン、色鉛筆、クレヨン、墨、水彩絵の具など自由。
●お一人で何点でもご応募いただけます。
作品の裏面に、[氏名・年齢・住所・電話番号・職業(会社名、学校名)]を作品名を明記の上、下記応募先に郵送してください。(絵や写真で応募の方は簡単な説明を書き添えて下さい。)

[応募期間]
3月31日(月)消印有効

[発　表]
平成9年4月下旬(西日本新聞夕刊紙面にて発表予定)

[応 募 先]
〒812 福岡市博多区中呉服町4-5
(株)ノア・カワバタ「あったらいいな文具コンテスト」係
TEL.092-291-1165

※賞金等の詳細は店頭チラシをご覧ください。

株式会社 ノア・カワバタ／〒812 福岡市博多区中呉服町4-5 ☎092-291-1165(代)
チェーン店 ●SOHO姪浜店(西区役所南) ☎092-884-2000 ●空港ビル店(国際線ターミナルビル2F) ☎092-621-2720 ●サンプラザ店 ☎092-431-6021
(3/12(水) SOHOデイトス店「博多川端文具」あらため 新装オープン)